



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月27日

上場会社名 山崎製パン株式会社
 コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	778,782	0.8	21,982	△15.1	23,195	△11.9	13,455	7.3
28年12月期第3四半期	772,680	1.7	25,884	43.4	26,341	41.1	12,534	92.5

(注)包括利益 29年12月期第3四半期 18,457百万円 (146.1%) 28年12月期第3四半期 7,500百万円 (△51.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	61.32	—
28年12月期第3四半期	57.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	694,601	317,615	42.3
28年12月期	703,886	302,922	39.6

(参考)自己資本 29年12月期第3四半期 293,709百万円 28年12月期 278,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	18.00	18.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※配当予想の修正につきましては、本日公表いたしました「平成29年12月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
 ※29年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当3円00銭

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,051,000	0.9	30,600	△13.0	32,700	△11.4	24,400	34.2
								111.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※連結業績予想の修正につきましては、本日公表いたしました「平成29年12月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	220,282,860 株	28年12月期	220,282,860 株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	843,507 株	28年12月期	842,777 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	219,439,727 株	28年12月期3Q	219,443,877 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年9月30日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が持続しましたが、個人消費は一部に持ち直しの動きがみられましたものの実質賃金の伸び悩みもあり力強さを欠くものとなりました。

当業界におきましては、お客様の節約志向が根強い市場環境の下で販売競争が激化するとともに、人手不足を背景とした人件費や物流コストの上昇などにより収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは、品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「厳選100品」を中心とした主力製品の取扱拡大につとめるとともに、高品質・高付加価値製品を開発する一方で値頃感のある製品を投入し消費の二極化への対応をはかるなど、営業・生産が一体となった部門別製品戦略・営業戦略を推進してまいりました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、当社グループの総力を挙げて「ヤマザキベストセレクション」を中心にパン、和洋菓子、米飯、サンドイッチ、調理麺の品質向上と新製品開発に取り組むとともに、焼きたてパンの品揃えの充実や手作りの弁当・サンドイッチの強化をはかり、来店客数の増加をめざしました。また、デイリーヤマザキのリージョンと各工場が一体となって店舗運営の改善を推進するとともに、店内加工機能の導入など店舗改装に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は7,787億82百万円（対前年同期比100.8%）となりましたが、一部の子会社の業績不振に加え人件費や物流費の増加もあり、営業利益は219億82百万円（対前年同期比84.9%）、経常利益は231億95百万円（対前年同期比88.1%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税率引下げに伴う税負担の軽減もあり、134億55百万円（対前年同期比107.3%）となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門（売上高738億65百万円、対前年同期比102.2%）

食パンは、「ロイヤルブレッド」、「超芳醇」、「ダブルソフト」の3大ブランドを中心に品質訴求による拡販につとめました。また、「レーズンゴールド」などのゴールドシリーズが大きく伸長したこともあり食パンの数量・販売単価ともに上昇したことに加え、品質向上をはかったサンドイッチ用食パンの取扱が大きく拡大し、好調な売上となりました。

②菓子パン部門（売上高2,674億50百万円、対前年同期比100.2%）

菓子パンは、品質を向上させたヤマザキ菓子パンや「ミニスナックゴールド」、「ケーキドーナツ」などが伸長するとともに、ランチパックが新製品の寄与もあり堅調に推移し、また、ハードロールの新製品「パン・オ・ルヴァン」シリーズが売上に寄与するなど、前年同期の売上を上回りました。

③和菓子部門（売上高513億62百万円、対前年同期比100.0%）

和菓子は、主力の串団子や大福、まんじゅうが堅調に推移するとともに、品質を向上させた具たっぷりシリーズなどの中華まんが伸長し、前年同期並みの売上となりました。

④洋菓子部門（売上高950億16百万円、対前年同期比100.1%）

洋菓子は、2個入り生ケーキなどのチルドケーキが堅調に推移するとともに、スペシャルシリーズなどのスナックケーキが好調に推移し、前年同期の売上を確保しました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高1,188億5百万円、対前年同期比105.5%）

調理パン・米飯類は、食パンの品質向上をはかったサンドイッチが好調に推移するとともに、(株)サンデリカにおいて大手量販店やコンビニエンスストアチェーンとの取引が拡大し、好調な売上となりました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高1,195億15百万円、対前年同期比98.8%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「ルック」、「カンントリーマアム」や(株)東ハトの「ポテコ」、「オールレーズン」が好調に推移しました。ヤマザキビスケット(株)は「チップスター」、「エアリアル」が好調でしたが、ビスケット、クラッカーの売上逸失が大きく、売上減となりました。以上の結果、食品事業の売上高は7,260億15百万円（対前年同期比101.0%）、営業利益は212億48百万円（対前年同期比84.3%）となりました。

<流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、販売競争が激化する中で直営店舗数の減少もあり営業総収入は450億17百万円（対前年同期比97.5%）、営業損失は8億10百万円（前年同期は7億48百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は77億49百万円（対前年同期比105.1%）、営業利益は11億84百万円（対前年同期比112.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は6,946億1百万円で、前連結会計年度末に対して92億85百万円減少しました。流動資産は2,318億7百万円で、借入金の返済による現金及び預金の減少や受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して192億38百万円減少しました。固定資産は4,627億94百万円で、有形固定資産の新規取得や投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に対して99億53百万円増加しました。負債合計は3,769億86百万円で、支払手形及び買掛金等の支払債務の減少や借入金の返済により、前連結会計年度末に対して239億77百万円減少しました。純資産は3,176億15百万円で、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に対して146億92百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は42.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、緩やかに回復していくことが期待されますが、当業界におきましては、お客様の節約志向が根強く販売競争が激化する中で、原料価格やエネルギー価格の上昇もあり、収益面で厳しい状況が続くことが予測されます。

このような状況下にあります。当社グループは、引き続き品質向上と新製品開発を積極的に行い、「厳選100品」を中心とした主力製品の取扱拡大をはかるとともに、消費の二極化に対応して高品質・高付加価値製品や値頃感のある製品の開発につとめるなど、営業・生産が一体となった部門別製品戦略・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、着実な売上拡大をめざしてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、当社グループの第3四半期連結累計期間の業績の状況を踏まえ、今後の収益環境等を勘案し、営業利益を306億円に、経常利益を327億円にそれぞれ下方修正いたしました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、(株)不二家の固定資産の譲渡益の計上により、244億円に増益となる見込みであります。

業績予想の修正の詳細につきましては、本日公表いたしました「平成29年12月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107,327	96,699
受取手形及び売掛金	106,693	97,346
商品及び製品	10,928	11,922
仕掛品	613	1,124
原材料及び貯蔵品	9,255	8,857
繰延税金資産	4,027	4,382
その他	12,566	11,819
貸倒引当金	△365	△343
流動資産合計	251,045	231,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	362,128	366,205
減価償却累計額	△267,778	△271,965
建物及び構築物(純額)	94,349	94,240
機械装置及び運搬具	466,200	476,363
減価償却累計額	△392,450	△399,987
機械装置及び運搬具(純額)	73,749	76,375
工具、器具及び備品	29,528	31,892
減価償却累計額	△23,880	△24,638
工具、器具及び備品(純額)	5,647	7,254
土地	116,430	116,565
リース資産	19,999	16,135
減価償却累計額	△12,571	△10,351
リース資産(純額)	7,427	5,783
建設仮勘定	6,097	12,123
有形固定資産合計	303,702	312,342
無形固定資産		
のれん	12,436	11,191
その他	9,228	7,861
無形固定資産合計	21,664	19,053
投資その他の資産		
投資有価証券	73,757	77,394
長期貸付金	442	413
退職給付に係る資産	530	553
繰延税金資産	24,428	23,660
その他	31,114	32,244
貸倒引当金	△2,799	△2,869
投資その他の資産合計	127,472	131,398
固定資産合計	452,840	462,794
資産合計	703,886	694,601

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,799	72,898
短期借入金	59,384	55,541
リース債務	2,783	2,213
1年内償還予定の社債	390	140
未払法人税等	8,188	4,219
未払費用	38,493	34,817
賞与引当金	5,093	12,225
販売促進引当金	1,157	1,174
資産除去債務	4	44
その他	45,343	40,223
流動負債合計	239,636	223,497
固定負債		
社債	510	370
長期借入金	26,121	19,610
リース債務	4,837	3,963
役員退職慰労引当金	3,877	4,021
環境対策引当金	92	78
退職給付に係る負債	112,409	111,591
資産除去債務	4,384	4,413
その他	9,095	9,439
固定負債合計	161,327	153,488
負債合計	400,963	376,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,666	9,666
利益剰余金	255,145	265,283
自己株式	△895	△897
株主資本合計	274,930	285,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,424	27,761
繰延ヘッジ損益	-	0
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	△397	△41
退職給付に係る調整累計額	△21,281	△19,177
その他の包括利益累計額合計	3,845	8,642
非支配株主持分	24,145	23,906
純資産合計	302,922	317,615
負債純資産合計	703,886	694,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	772,680	778,782
売上原価	490,355	497,703
売上総利益	282,325	281,078
販売費及び一般管理費	256,440	259,096
営業利益	25,884	21,982
営業外収益		
受取利息	77	59
受取配当金	542	598
固定資産賃貸料	470	436
持分法による投資利益	153	203
雑収入	773	974
営業外収益合計	2,017	2,271
営業外費用		
支払利息	792	627
為替差損	516	119
雑損失	252	310
営業外費用合計	1,561	1,057
経常利益	26,341	23,195
特別利益		
固定資産売却益	71	50
収用補償金	-	244
投資有価証券売却益	443	12
補助金収入	245	-
特別利益合計	761	307
特別損失		
固定資産除売却損	1,368	1,195
減損損失	444	468
のれん償却額	-	291
商号変更関連費用	634	-
その他	604	140
特別損失合計	3,052	2,095
税金等調整前四半期純利益	24,049	21,407
法人税等	11,029	7,838
四半期純利益	13,020	13,569
非支配株主に帰属する四半期純利益	485	113
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,534	13,455

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	13,020	13,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,374	2,317
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	△647	380
退職給付に係る調整額	1,508	2,167
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	23
その他の包括利益合計	△5,519	4,888
四半期包括利益	7,500	18,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,402	18,251
非支配株主に係る四半期包括利益	98	206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が632百万円、利益剰余金が632百万円増加しております。

(追加情報)

平成29年9月25日開催の当社連結子会社である株式会社不二家の取締役会において、次のとおり固定資産の譲渡を決議いたしました。

1. 譲渡の理由

保有資産の有効活用を図るため、下記土地・建物を譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

所在地	資産の内容	現況
東京都中央区銀座6丁目2番地2	土地 296.82㎡ 建物 延2,233.50㎡	店舗及び事務所

3. 譲渡先、譲渡価額及び帳簿価額

譲渡先、譲渡価額及び帳簿価額については、譲渡先との契約により株式会社不二家が守秘義務を負っているため、公表を差し控えさせていただきます。なお、譲渡価額は合理性のある価額として、当該相手先との間で誠実に協議のうえ合意しております。株式会社不二家と譲渡先の間には、資本関係、人的関係、取引関係として特記すべき事項はなく、株式会社不二家の関連当事者には該当いたしません。また、反社会的勢力との関係がないことも、譲渡先と確認しております。

4. 譲渡の日程

- | | |
|------------|-------------|
| (1) 取締役会決議 | 平成29年9月25日 |
| (2) 契約締結 | 平成29年9月25日 |
| (3) 物件引渡期日 | 平成29年11月30日 |

5. 連結損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡に伴う譲渡益約190億円から連結に伴う土地の時価評価差額を控除した約122億円を平成29年12月期連結決算において固定資産売却益として特別利益で計上する予定です。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	719,144	46,166	7,369	772,680	—	772,680
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,546	5,226	25,214	35,988	△35,988	—
計	724,690	51,393	32,584	808,668	△35,988	772,680
セグメント利益又は損失(△)	25,217	△ 748	1,052	25,521	362	25,884

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額362百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	726,015	45,017	7,749	778,782	—	778,782
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,454	5,166	26,936	38,557	△38,557	—
計	732,469	50,183	34,686	817,340	△38,557	778,782
セグメント利益又は損失(△)	21,248	△ 810	1,184	21,621	360	21,982

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額360百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位：百万円)

セグメント名称	区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	72,294	9.3%	73,865	9.5%	1,570	102.2%
	菓 子 パ ン	267,031	34.6	267,450	34.3	418	100.2
	和 菓 子	51,349	6.6	51,362	6.6	12	100.0
	洋 菓 子	94,897	12.3	95,016	12.2	118	100.1
	調理パン・米飯類	112,591	14.6	118,805	15.3	6,213	105.5
	製菓・米菓・その他商品類	120,979	15.7	119,515	15.3	△ 1,463	98.8
	食 品 事 業 計	719,144	93.1	726,015	93.2	6,871	101.0
	流 通 事 業	46,166	6.0	45,017	5.8	△ 1,148	97.5
	そ の 他 事 業	7,369	0.9	7,749	1.0	379	105.1
	合 計	772,680	100.0	778,782	100.0	6,101	100.8

(2) 主要子会社実績

(単位：百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第3四半期	当第3四半期	増 減 額	増 減 率	前第3四半期	当第3四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家(連結)	73,555	75,337	1,781	2.4%	527	△ 79	△ 606	—%
(株)サンデリカ	81,838	86,704	4,866	5.9	2,338	2,332	△ 6	△ 0.3
(株)ヴィ・ド・フランス	25,612	24,929	△ 683	△ 2.7	612	△ 60	△ 672	—
ヤマザキビスケット(株)	30,241	23,672	△ 6,569	△ 21.7	2,533	504	△ 2,029	△ 80.1
(株)東ハト	17,224	18,412	1,188	6.9	555	738	182	32.9

(3) 平成29年12月期第3四半期の単体業績 (平成29年1月1日～平成29年9月30日)

① 単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	552,025	1.1	16,774	△ 5.3	19,157	△ 0.5	12,314	18.1
28年12月期第3四半期	545,810	2.3	17,709	41.1	19,248	33.0	10,430	75.6

② 単体財政状態

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
29年12月期第3四半期	515,824		286,157	
28年12月期	525,635		274,870	

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(4) 単体販売実績

(単位: 百万円)

期別 品種別	前第3四半期 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)		当第3四半期 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	71,682	13.1%	74,350	13.5%	2,668	103.7%
菓子パン	249,113	45.7	249,319	45.2	206	100.1
和菓子	50,795	9.3	50,829	9.2	34	100.1
洋菓子	65,919	12.1	66,393	12.0	474	100.7
調理パン・米飯類	33,462	6.1	36,892	6.7	3,429	110.3
製菓・米菓・その他商品類	32,291	5.9	33,956	6.1	1,665	105.2
小計	503,263	92.2	511,742	92.7	8,478	101.7
デイリーヤマザキ事業	51,393	9.4	50,183	9.1	△ 1,209	97.6
内部消去	△ 8,846	△ 1.6	△ 9,900	△ 1.8	△ 1,054	—
合計	545,810	100.0	552,025	100.0	6,215	101.1

(5) 単体営業利益増減の内訳

(単位: 百万円)

	平成28年 第3四半期		平成29年 第3四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	%	金額	%		
営業利益						
山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く)	18,458	3.7	17,585	3.4	△ 873	△ 4.7
デイリーヤマザキ事業	△ 748	△ 1.5	△ 810	△ 1.6	△ 62	—
合計	17,709	3.2	16,774	3.0	△ 935	△ 5.3

<山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) 増減内訳>

(単位: 百万円)

	平成28年 第3四半期		平成29年 第3四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
	金額	%	金額	%			
売上総利益	161,688	32.1	163,637	32.0	1,949	1.2	売上高の増加 39億円 原材料費の減少 3億円 労務費の増加 ▲9億円 経費の減少 2億円 償却費の減少 3億円 仕入品の増加等 ▲19億円
販売費及び一般管理費	143,229	28.5	146,052	28.5	2,822	2.0	人件費の増加 ▲3億円 経費の増加 ▲21億円 償却費の増加 ▲4億円

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) の売上高に対する比率を記載しています。